



多くの義援金が寄せられています(東城支所窓口)

東日本大震災に対する 支援状況

危機管理課危機管理係 ☎0824-73-1206

東日本に甚大な被害をもたらした東北地方太平洋沖地震発生から、間もなく10カ月が経過します。

この間、市は、市民の皆さんからの義援金や救済物資の受け付け、避難者受け入れのための公営住宅や避難施設の準備など、被災地を応援するべき限りの取り組みを行ってきました。また、人的支援として市職員を現地に派遣し、被災地の復旧と復興に向けての自治体支援を行いました。

現在まで寄せられた義援金の集約状況、職員の派遣状況などをお知らせします。

1 義援金の状況

地震発生後から義援金受付窓口(市民生活課、各支所市民生活室、西城しあわせ館)を開設。

12月16日時点
1,148件
82,593,091円

※義援金は、定期的に日本赤十字社を通じて被災地へ送金しています。

●市役所受け付け分から日本赤十字社広島県支部庄原市地区(庄原市社会福祉協議会内)へ送金した金額
82,474,947円(12月9日現在)



●日本赤十字社および中央共同募金会受け付け分
3,414億円(12月13日現在)

●全国から集まった義援金の内、被災県の義援金配分委員会へ送金された金額
3,123億円(12月9日現在)

●被災市町村から被災者へ配分された金額
2,661億円(12月9日現在)

2 職員の派遣状況

(1) 国、県などからの派遣要請に基づく派遣

●被災県から広島県への要請

期間 5月10日～16日・6月19日～25日

内容 派遣自治体：宮城県気仙沼市

業務内容：避難所住民の健康管理など

人数 保健師各1人

(2) 庄原市独自の派遣支援

●宮城県東松島市の要請に基づく派遣
【短期派遣】

期間 4月25日～9月16日

内容

①生活支援、罹災証明などの相談、処理事務など

②下水道の災害査定用の設計書作成業務など

人数

①事務職員2人
②技術職員2人

※事務職員、技術職員それぞれ2人を原則2週間のサイクルで、事務職員は7回、技術職員は8回、延べ30人を派遣しました。

●宮城県東松島市の要請に基づく派遣
【長期派遣】

期間

8月1日～3月31日

内容

仮設住宅への対応、学校施設など公共施設の修繕への対応など

人数

建築技術職員1人

※原則1カ月のサイクルで、延べ8人派遣する予定です。